

サルパッチョ

# 紫苑とおじちゃん



R For Adult Only 18

SHION CHAN GA OSSAN NI KAWARETE H NAKOTO SARERU BOOK.



——おお、  
ありがたいえ

じいさん

あの別嬪は  
なんだって  
こんなとこで  
乞食なんざ  
やってんだ？



別嬪？  
…あア



旦那、  
ありや  
貧乏神さ

貧乏神？



…確かに  
上玉だけどな  
顔もいいし  
あのでけえ乳は  
たまらねえよ

そんでも  
ここいらで  
アレを抱く  
馬鹿はいねえ

そもそもこんな  
外れにや旦那が  
買うような女は  
誰も来ん

悪いこたあ  
言わねエ  
他あたんな



.....え、私？



その女  
いくらだ

だ、  
旦那……



おい

# 紫苑とおっさん



メシは三食  
好きにだけ  
食わせてやる



.....

自慢の  
露天風呂だ  
しっかり  
洗え



風呂  
入ったら  
俺の部屋  
来い



……この  
旦那さんは  
いい人そう  
一晩だけ  
なら……



わあく……

あったか  
い……

入れ

旦那様……

ほ



ほら  
こっち  
座れ

ああ酌は  
いらん

やっぱり俺の  
見込んだ通り  
イイ女だ……



お風呂  
いただき  
ました……





最高に  
いい女だ……  
肌も乳も  
まんこも  
極上……っ

はあ……

はっ  
はっ  
はっ

あっ、旦那、  
様……っ

あ……

すご……  
い……っ

ぜっ

俺のは  
でけえだろ  
紫苑……  
俺以外の男で  
満足できねえ  
体にしてやる



ぱちぱち

はっ  
はっ  
はっ

だめ……  
この人の  
ほんとに  
気持ちいい

も、もう  
離れないと  
手遅れに

あっ?!



……やけに  
明るいな

こんな時間  
だってのに  
焚き火でも  
して……



外だあ……?



……おい紫苑  
萎えさせる  
じゃねえか

まだ三発目だ  
ちんぽに  
集中し

ちが……  
旦那様っ  
外……

グ オオオオ

燃えてる  
のは……

……ありや  
俺の蔵か  
……?!

あとは転げ  
落ちるだけ  
だった。

くそっ

なんで  
誰も金を  
貸しやがら  
ねえ……っ

旦那様……

やっぱり  
私が……

あの時、  
すぐに私を  
捨ててさえ  
いれば――

……黙れ

これは  
俺の問題  
だ……!!

彼もここまで  
零落れる事は  
なかっただろう。

俺の腕なら  
元手さえありや  
また……っ



それで  
最後です  
……

皮肉な事に、彼を  
彼足らしめてきた  
矜持が命取りと  
なったのだ。



お酒は……



お前は俺が  
買ったんだ  
……っ

いまさら逃げ  
ようだったって  
そうはいか  
ねえぞ

でも……

いいから  
酒を持って  
来い！

——事実、  
これまでの男は  
皆がそうしてきた。



あ……  
お布団を売れば  
少しくらいの  
お金に……

わ、私は  
木の床でも  
屋根さえ  
あれば——



メシ食う  
金もなけりや  
酒呑む金も  
ねえってか……



どんな  
形であれ、

あ、はい  
……っ

喜んで  
……



しゃぶれ



おい、  
紫苑……

!!!



事ここに至り、  
初めて私は  
人間に必要と  
されていた。



…あつ

むわっ

どうした…  
お前の大好きな  
旦那様のちんぽだ  
はやく啜えろ

ん…  
ん…

んむっ…

むわっ  
むわっ

ん…  
ん…

んう…♡

むわっ

ん…  
ん…

ん…  
ん…

ん…  
ん…



飲みたい  
だろ？

精液大好物  
だもんな？

ん？

ミチガ  
ミチガ

ふあい

くらはい  
……



ど、  
どうれふ  
か……？

いいぞ……

巧くなった  
じゃねえか  
……っ

ミチガ  
ミチガ  
ミチガ



ふえ？！

ミチガ  
ミチガ  
ミチガ



あっ！

あっ……あ

ミチガ  
ミチガ  
ミチガ

ミチガ

ミチガ



けふ、  
旦那様あ…  
紫苑に精液  
かけたときは  
先に脱がして  
くださいって  
え…

はっ  
はっ  
へっ

もうどう  
なったって  
一緒だよ

服がまた  
旦那様ので  
カピカピに  
なっちゃう  
…  
…  
…

あつ、  
だめ…



脱がすついでに  
顔もきれいに  
なるだろうが







うお……っ

おう

あっ♡  
旦那様……♡  
はぁ

はっ



おち……  
紫苑……  
ちんぽが  
治まらねえ  
んだよ

はぁ

……抜いちや  
だめで……す  
まだ……っ  
で、てます  
本、よう……

ぬ、ちんぽ、あ、あ  
ま、ま、ま



お前の  
せいだ……  
お前が……

あ、い、い

ジュンジュン

ま、ま、ま

はぁ  
ああ……  
す、すごいです  
旦那様……♡

紫苑……

はぁ  
旦那様の  
どろどろの  
せいえきが  
こんなに♡

紫苑……

でも  
まだ  
おちんちん  
カチカチ……♡

たまたまも  
たぷたぷして  
ますよ？

はぁ♡

旦那様の  
……  
全部  
紫苑に  
ください♡

はぁ♡

はぁ♡

……です……

はぁ♡

♡  
♡  
♡

♡  
♡

♡  
♡  
♡





あっ♡  
あっ♡  
あっ♡  
あっ♡  
あっ♡  
あっ♡

だ、だめ  
ですよお  
掻き  
出さないで  
ください……

こりや  
誰の精子  
だ……あ？

あっ♡  
あっ♡

なんだ  
紫苑……



ねちゅ  
ねちゅ  
ねちゅ

あぁ……  
紫苑に

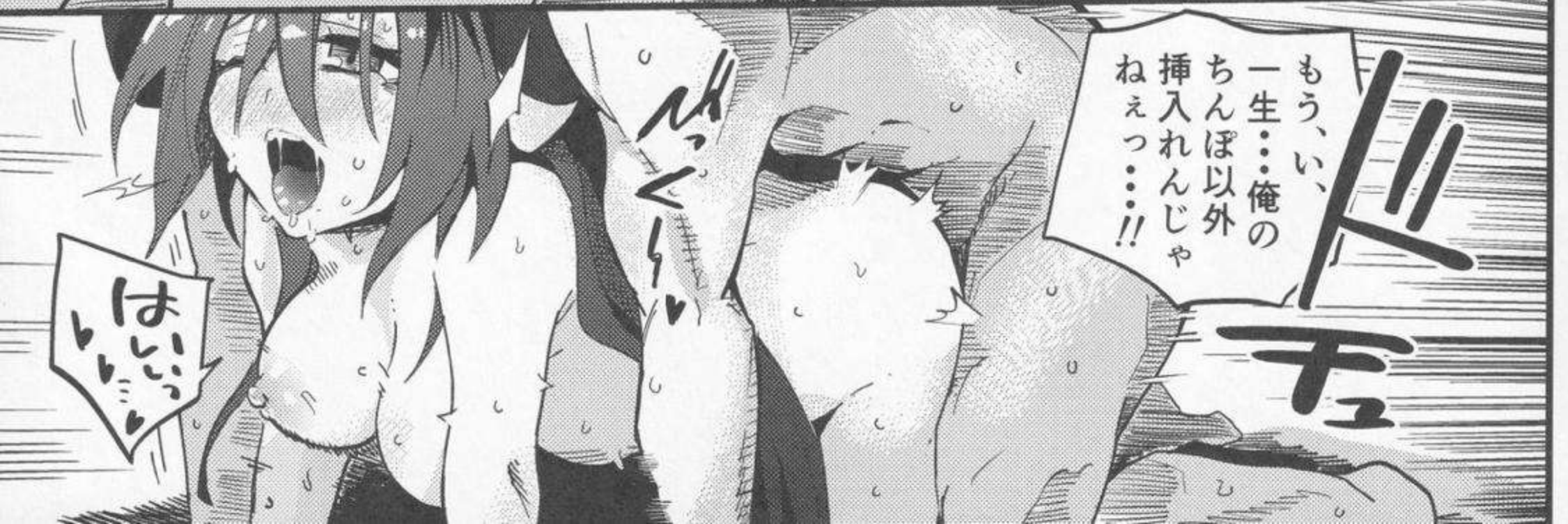
……旦那様が  
入ってきます  
……♡

そうだ……

この……  
まんこは  
俺……んだ

♡♡♡♡♡  
♡♡♡♡♡  
♡♡♡♡♡  
♡♡♡♡♡

ほ……



はいっ♡  
はいっ♡  
はいっ♡  
はいっ♡

もう、い……  
一生……俺の  
ちんぽ以外  
挿入れんじや  
ねえっ……!!

！！  
！！  
！！  
！！





んんん

どろろ

はあ…  
くそっ

…はあ

お…お、  
おかしが  
…だろーっ

あ  
ぐちゃっ

ぐちゃっ



お

でも  
俺以外  
男に憑  
許せねえ

はあ

ぽん

…俺は、  
もう…っ  
死んだら二度と  
お前を抱け  
ねえ…っ

ぽん



ぐちゃっ

どろろ

どろろ

俺んだっ  
…俺のっ

どろろ



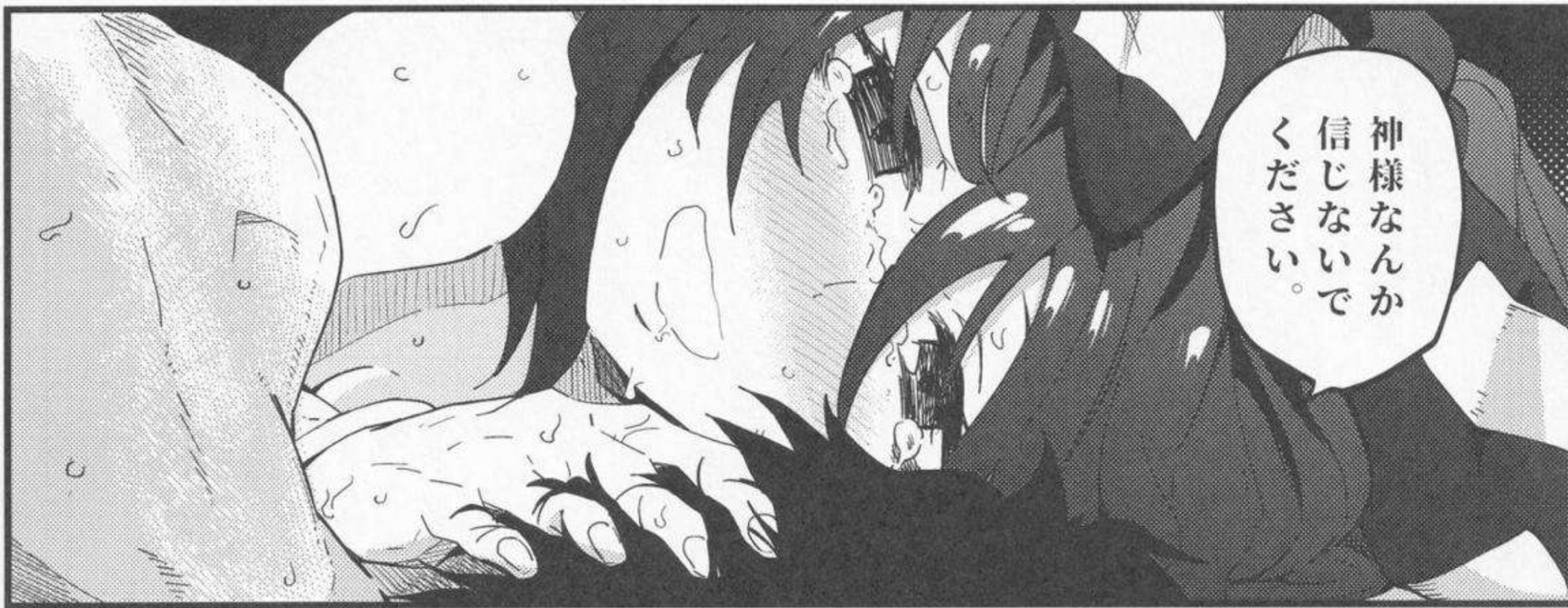




あぁ...  
お疲れさま  
です...  
旦那様...♡

お陰様で  
紫苑は毎日  
満たされて  
ました...

...もしも  
来世で再び  
相見えることが  
あっても—



DEAD END.

あとがき

この本を手にとっていただき、ありがとうございます。どうも、猥裸です。

6作目の本になります。ご容赦ください!

今回は紫苑ちゃん本になりました。竿役の男が貧困のあまりメシも食えず、最後には紫苑を抱く以外に考えられなくなって死んじゃうお話でした。この手の《精力吸い尽くして男を殺す》タイプのヒロインにはあまりないでしょうが、紫苑は性交自体が目的ではありません。紫苑にとってはおなかいっぱいになればなんでもいいんですけど、寄生虫みたいに宿主を衰弱させてしまうという面があるわけで。大抵は宿主から追い出されるんですけど、今作の男は高すぎるプライドから紫苑を囲んでしまおうとしたのが死に繋がってしまいました。最後の最後に「お前のせいで」と本音をぶつけられた時、それが最大の《信仰》だったんじゃないでしょうか。食欲と性欲で紫苑にとって大きな快感となったわけでありませう。幻想郷の『性欲=信仰』神様満腹システム、大好きです。

いや実際、貧乏神に憑かれて死ぬとかあるんでしょうかねえ。ネタバシですが憑依華のomakeには「実は相手を貧乏にする事で財禍から守ってくれる守り神である」って書いてあるんですけど、いやいや意味わかりませう。貧乏は死にますよ!!

こういう逸話があるらしいです。とある貧乏神に憑かれた男が、「貧乏ではあるけれどそれ以外は大きな不運に見舞われることもないしハッピー。ありがとねえ」と貧乏神を祀ったところ、気をよくした貧乏神が少し貧乏具合を緩くしてくれたのだとか。いや、結局貧乏なんかーい。

たぶんこの逸話を盛り込んだらどうしようとは思いますが。本作の男みたく、貧乏に適應できない者はそのまま衰弱死することもあるでしょう。

しかし、紫苑ちゃんはいつ男にとり憑いたのでしょうね??男が魅了されたのは自分の意思か、あるいは神の業なのか…。

ではでは～。

## 紫苑とおっさん

2018/5/6 博麗神社例大祭15

著者 猥裸

印刷 サングループ(敬称略)

原作 上海アリス幻楽団(敬称略)

発行

サルパッチョ -sarpaccio-

twitter waihadaka pixiv 14996935

mail yappari\_waira@yahoo.co.jp

**サルパッチョ**